



# すくすく育で

## 乳幼児健診

平成 25 年 11 月 15 日 (千寿苑)

4ヶ月健診



7ヶ月健診



さわやかな秋晴れとなった10月13日。今年も、山都町清和地区の井無田自治振興区主催で「ふるさととの生きもの観察会」が井無田高原キャンプ場を会場に開催された。今回も観察会の講師として、私に依頼があり、快く引き受けた。この日の観察会は一ふるさととの秋をさがそう」をテーマに行った。家族での参加が多く、昨年度まで勤務していた清和小学校の子どもたちも、久しぶりに顔を合わせることができた。



始まりの会での説明で、観察のポイントをいくつか示した。一つは、赤トンボの仲間の観察。二つ目は、秋の七草。三つ目は秋の鳴く虫の観察。

説明が終わると子どもたちは虫取り網を持って、元気に草原を駆け回った。観察用のケースを並べて準備を始める。さっそく、子どもたちが網の中に虫を入れたまま戻ってきた。子どもたちが最初に見つけたのは、トノサマバタだった。このバタはとても大きくて足の力も強いので、子どもたちはビクビクしながらバタに触っていた。しばらくすると、大変なことになった。子どもたちもトノサマバタを見つけて戻ってくるので、虫をいれる大きなケースはバタでいっぱいになった。



矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

その 48

### 食育を通じて地域交流

県教育委員会の食育推進校に指定されている蘇陽南小学校。年間を通して学年ごとに作物を育て、食の安全や収穫することの喜びなどを勉強します。3年生児童13人が収穫したのは大豆。菅尾老人会の方たちに種まきから収穫までを教えてもらい、今回はその時に収穫した大豆で呉汁づくりに挑戦しました。包丁の使い方や、老人クラブの方たちに教えてもらいながら食育を学び、また地域の方たちとの交流も行いました。



呉汁を作りながら地域の方との交流も

### 夏休み茶道教室から被災地へ



義援金を贈った茶道教室の皆さんと教育長

夏休み茶道教室の子どもたちが、東日本大震災で被害を受けた被災地への義援金を教育委員会に渡しました。この義援金は、夏休み茶道教室に通った小学生と矢部高校茶道部の7人が、矢部地区総合文化祭で「子どもの呈茶」を開催した際に、お客さんからいただいた料金の一部です。昨年は九州北部豪雨で被害を受けた阿蘇市へ見舞金を渡しています。11月11日に児童・生徒の7人が、「被災地に役立ててください」と山下明美教育長に渡しました。義援金は日本赤十字社熊本県支部を通じて、東日本大震災義援金として送られました。